

e ラーニング研修「最終レポート」

I C T を活用した授業のイメージをつくりましょう

| 教科・領域等        | 社会  |
|---------------|---|
| 授業タイトル・単元名等   | 『江戸時代に生きた人々』 解体新書（第1次）  |
| 対象学年          | 第6学年  |
| 実施場所          | 教室  |
| I C T 活用授業の内容 | <p>●授業のねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「農民や町人から差別された人々」の仕事や役割をおさえる。</li> <li>・かれらのもつ技術や知識が医学の発展に役立ったことを知る。</li> </ul> <p>●授業の流れ</p> <p>①スクリーンで、人体図A（解体新書以前に日本で考えられていた解剖図）と、人体図B（解体新書に描かれていた解剖図）を順に見せ、何に見えるか等比べさせる。</p> <p>②Bがどうして人体の解剖図とわかったか、当時の想像図（p. 66）を拡大して映し出す。</p> <p>③解剖している人と、筆でメモを取っている人のどちらが杉田玄白だと考えるか尋ねる。そして、どのような会話をしているか想像させる。</p> <p>④スクリーンの拡大図に、実際の会話を吹き出しをつけて紙芝居調に映し出す。（ここで玄白が筆でメモを取っている方の人と知る）</p> <p>⑤では、解剖しているのは誰でしょう。<br/>—教科書にもどり、p. 66の口絵の説明を読む。</p> <p>⑥虎松のおじいちゃんの話をして、「杉田玄白と虎末のおじいちゃんに手紙を書こう！」と題して、思ったことをワークシートに書かせる。</p> <p>●I C T 活用のねらいと授業での位置づけ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・視覚に訴えるところが多いので使いたかった。</li> <li>・拡大図で会話をクリックして、紙芝居にする。</li> <li>・はじめに解剖している人が玄白と考える児童が多く、逆転現象の起きる授業が期待できる。</li> </ul> |
| 活用するI C Tメディア | パソコン、プロジェクター、スクリーン  |
| 活用するコンテンツ等    | パワーポイント   |